

テーマ：観光（実践校）

上川管内 南富良野町立南富良野中学校

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、「ふるさとの魅力を再発見する」をテーマとし、総合的な学習の時間や保健体育科等の学習と関連させ、町内の観光産業に関わる体験活動や外部講師の講話を通して、地域の観光産業や魅力について探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

町の観光産業について調べる活動や体験活動を通して、地域の観光産業について理解するとともに、課題解決に向けて調べた情報や体験を通して学んだこと等をまとめ、地域の観光産業や魅力について具体的に考え、関心をもってふるさとの魅力を発信できるようにする。

取組の様子

(1) 課題の設定

地域にある豊かな自然やそれを生かした観光産業の意義や魅力について詳しく知るために、ふるさとの魅力を再発見するという探究課題を設定しました。



【カヌー授業】

(2) 情報の収集

町内の観光産業の方に協力を得て、ラフティングやカヌーなどのアウトドア活動の魅力を体感しました。

また、外部講師の講話や町の観光 Web ページを活用し、地域の観光産業や魅力について情報を収集しました。



【外部講師による講話】

(3) 整理・分析

全校生徒で縦割り班を作り、個々が得た情報を基に、「アクティビティ」、「食」、「班による自由テーマ」の3部門について整理し、「南富良野のイチオシ」を紹介する資料を作成しました。

(4) まとめ・表現

「南富良野のイチオシ」と題して、町の魅力をパワーポイントにまとめ、町教育長に来校していただき、全校交流会を実施しました。資料の作成作業や発表会を通して、地域の観光産業や魅力について理解を深めることができました。



【全校交流会】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・多様な視点で町の良さを認識することができるよう、体験活動や外部講師の講話を取り入れたり、異学年による班で意見を交流し合ったりするなどの機会を設定しました。
- ・課題解決に向けて、1人1台端末を活用し、インターネットによる情報収集や共同編集機能による資料作成を行いました。

実践の振り返り

- ・「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、「ふるさとの魅力を再発見する」という課題について探究的に学習を進めたことにより、地域の観光産業について理解を深めるとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育むことができました。
- ・総合的な学習の時間を中心に、保健体育科等の学習と関連させるとともに、外部人材を積極的に活用するなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図ることにより、ふるさとへの愛着や誇りをより一層育むことが期待できます。